

## プレスリリース

### 神戸市で近畿地区のブロック会議・技術者研修会を開催

#### -アルミ電線の試用を提案-

平成 30 年 6 月 26 日  
一般社団法人 日本船舶電装協会

一般社団法人日本船舶電装協会は、6月21日(木)に神戸市で近畿船舶電装協議会(会長:吉田昌司(株)CDK社長)の協力を得てブロック会議及び研修会を実施しました。

この事業は、日本財団の助成を受けて行っているもので、船舶電気装備工事に携わる当会会員企業にとって必要な最新の船舶安全に関する法令等を学ぶとともに施工上の留意点等を十分に理解して、適正な電装設計、工事に役立てることを目的としています。

この会合に先立って同協議会の総会が開かれました。

総会には神戸運輸監理部の小濱 照彦 海上安全環境部長が、ブロック会議には井上 康史 首席海事技術専門官及び日本小型船舶検査機構神戸支部の水谷泰生支部長が出席し、最新の海事関係規則の紹介や小型船舶の検査上の留意点について説明を行いました。

また、今年度の技術者研修会のテーマである「アルミ電線の船舶への適用」では、2ヶ年にわたり行った調査研究の成果を報告するとともに、同調査研究に協力した古河電工産業電線(株)が提案する「電気溶接や造船工事におけるアルミ電線の試用について」紹介、試用を提案しました。

平成 30 年 6 月 21 日(木) メーブル有馬(参加者: 24名)



連絡先 (一社)日本船舶電装協会 03-3504-0858 松坂